

ボランティア volunteer

ボランティアセンターだより

2011.11

大崎市ボランティアセンター

サマーチャレンジ
ボランティア
2011
レポート

第1日目(小学4年生～中学3年生対象) 「防災について学ぼう!～サバメシづくりに挑戦～」 「被災地へ届け! みんなのメッセージ入りうちわ作成」 (平成23年8月10日水) 参加者/19名

大崎市内の小・中学生を対象に、「防災について学ぼう!～サバメシづくりに挑戦～」 「被災地へ届け!みんなのメッセージ入りうちわ作成」に取り組みました。



サバイバル飯炊き(サバメシ)では、岩出山在住の安倍優さんご指導のもと、空き缶をコンロにし、牛乳パックを燃料として炊飯にチャレンジしました。

まずは、空き缶を利用したコンロづくりに挑戦です。ハサミやカッターを使用して空き缶に空気口や燃料となる牛乳パックを短冊状に切り、燃料棒を作成しました。



コンロが出来上がり、いよいよ炊飯体験です。炊飯では、火を絶やさないと重要ですが、途中で火が消えたり、うまく燃料が燃えなかったりと悪戦苦闘しながら参加者全員、おいしくご飯が炊けました。みんなが炊いたご飯にカレーライス。一生懸命作ったご飯の味は格別でした!

午後からは、東日本大震災により鳴子温泉に避難された被災者の皆様へ心を込めた「メッセージ入りうちわ」を作成し、お届け致しました。参加者からは「逆に元気をもらえた」と笑顔で話しているのが印象的でした。



第2日目(高校1年生～大学生対象) 「災害ボランティア活動しよう!」 (平成23年8月11日木) 参加者/10名

大崎市内の高校・大学生を対象に「災害ボランティア活動しよう!」をテーマに、東日本大震災で大きな被害を受けた岩沼市(岩沼市災害復興支援センタースマイル)において、仮設住宅に入居されている方々へ心を込めて作成した「メッセージ入りうちわ」と支援物資をお声がけしながら一軒一軒お届けしました。



訪問の最中、入居者の方からお誘いをうけて、「青空サロン」に招待され、みなさんとお茶を飲みながら「被災当時のお話」や「避難所や仮設住宅での生活の様子」など多くの事を伺いました。被災地の現状を目の当たりにし、改めて、支援の大切さを胸にボランティア活動に取り組んで頂きました。

参加者の感想

仮設住宅で支援物資を配っていて、自分達は何もしていないのに「ありがとう」や「暑い中大変だね」という言葉を頂きとても感動しました。

岩沼の被害が大きかった地域にも行きました。テレビで見るとは全然ちがう光景で、何も言葉が出てきませんでした。予想以上にすごく、涙がでてきそうになりました。